



ふたがわ

第46号

編集・発行 豊橋市立二川小学校

(0532) 41-0550

めざす子ども像
ふたがわのよい子

- やさしい子 (徳)
- 考える子 (知)
- たくましい子 (体)

故郷

〜未来へ向かって〜

校長 野口 正芳

お子さんはこの一年間、新たな気持ちで学習や運動等に取り組んできました。スポーツフェスタや本爺ランでは、たくさんの友達と笑顔いっぱい活動する姿、そして、保護者の皆様の温かな応援があり、とてもうれしく思いました。また、二五〇周年記念式典、秋祭りは、校区自治会、PTA、共育ボランティアの会の皆様をはじめ地域の方々のご協力により盛大に行うことができ、心より感謝申し上げます。

さて、三月は卒業の季節です。次は卒業生のみなさんへのメッセージです。

これから、本校を巣立っていくというみなさんは、どんな思いを胸にもっているのでしょうか。「やりたいこと」「なりたいたい自分」のイメージをいくつももっているのではないのでしょうか。みなさんが思い浮かべる夢や希望は、ぜひ実現させたいですね。楽しみにしています。しかし、すべてが思い描いたとおりに実現できるとは限りません。

中国の文学者に魯迅(ろじん)という人がいました。若いときには日本に留学した経験をもっています。明治時代の東京と仙台で生活しました。この留学がきっかけとなって、若き日の魯迅は文章のもつ力が、いろいろな人の生き方を変えることがあることに気づきました。そして、一生の事

として文学を目ざすようになっていきました。

魯迅の作品「故郷」には、長い間離れていた故郷に、久しぶりに会った主人公が、すっかり様変わってしまった故郷や、そこで暮らす人々の姿にがっかりしてしまいました。しかし、若者の将来に、自分たちができなかった新しい生活を送ってほしいと強く願うのです。この作品の最後の文章です。

思うに希望とは、もともとあるものとも、えぬし、ないものとも、えない。それは地上の道のようなものである。もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。

「希望」という言葉を「夢」や「目標」という言葉に置き換えてみると、。将来携わってみたい職業、ぜひ実現させたいことを思い浮かべると、その中には家族が関連した仕事だと親しみがわくでしょう。しかし、今まで全く縁のなかった目標を考えている人もいます。こんなときには、不安を抱くこともあります。不安になったり自信がなくなったりする瞬間はどんな人にもあります。何も特別な人に限ったことではありません。今まで誰も経験したことのないようなことに挑戦しようとする人もいます。大いに挑戦してください。そして、誰も歩いたことのない、新しい道を作り開いてほしいと思います。結びに、本年度も皆様から温かいご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いたします。

1年 「いろんなことに挑戦」 「カラフルレインボー」

小学校生活がスタートとして、早いもので、もう一年たとうとしています。学年目標「カラフルレインボー」を合言葉に、さまざまなことに挑戦した一年生でした。

毎日行う給食の準備や片づけ、掃除。始めは先生や六年生に手伝ってもらいながら進めました。いつのまにか自分たちだけでもできるようになりました。自信をもつて活動できました。

生活科「いろいろあるね 日本遊び」では、一川のんほいクラブの方々に教えてもらった昔遊びに夢中で取り組みました。友達と楽しく遊ぶ中で、「上手にできるようになつたよ。みんなに教えてあげる」と、昔遊びのコツを教え合う姿を見ることができました。

声を掛け合いながら、できることが増えていった一年。一回りも二回りも大きくなれた一年でした。



けん玉に挑戦!

2年 成長して「自分探し」

友達と仲良く、元気に活動することで達成感を味わい、成長することに喜びを感じてほしいという願いをこめて学年目標「にこにこ」としました。この二年間で、さまざまな場面で成長をしたと感じることがありました。

係活動を通して、自分たちの力で学級をまとめようとする姿。授業中では、話を聞くよい姿勢に加え、すばやく問題に取り組みうとする姿。こうしたすばらしい姿を見るのができたのは、子どもたち一人一人のがんばりによる成長です。

生活科「自分はっけん」の学習では、これまでの自分を振り返り、成長してきた自分と、周りの人たちの支えがあったことに気がつきました。この学びが、これからの成長の糧になり、三年生でも活躍していくことを期待しています。



生活科「自分はっけん」お家の方からの手紙に感動

■本年度の学校評価について

〈児童・保護者・教員アンケートの結果から〉

※無回答は集計と比率に含めず

アンケート三者比較(児童・保護者・教職員) 1. 当てはまる 2. やや当てはまる 3. あまり当てはまらない 4. 当てはまらない

設問内容		比較	
設問① 道徳教育	学級活動や道徳の授業を通して、「自分や友だちを思いやる心が大切なこと」を知ることができた。	児童	■1 ■2 ■3 ■4
	学校は、学級活動や行事による人とのかかわりを通して、自他を大切にすることを育成しようとしている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、特別活動の充実や人とのかかわりを通して、自他を大切にすることを育成しようとしている。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問② いじめ防止	先生は、いじめは許さないという指導をしている。	児童	■1 ■2 ■3 ■4
	学校は、いじめの早期解決、未然防止などに力を入れている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、いじめの早期解決、未然防止などに力を入れている。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問③ 確かな学力の保障	「わかった、できた」という楽しさや喜びを感じる授業が多い。	児童	■1 ■2 ■3 ■4
	学校は「わかった、できた」という楽しさや喜びを体感させられる授業を行っている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は「わかった、できた」という楽しさや喜びを体感させられる授業を実践している。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問④ 話し合い活動	話し合いに参加して、たくさん発言をしたり、友だちの意見をしっかりと聞いたりしている。	児童	■1 ■2 ■3 ■4
	学校は、話し合い活動に力を入れ、自分自身の学びを深めさせようとしている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、授業を通して話し合いの活動の活性化を図り、主体的・対話的な授業の実践をしている。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問⑤ 体力向上	体育の授業、外遊びなどで、運動を楽しみながらいっぱい活動している。	児童	■1 ■2 ■3 ■4
	学校は、体育の授業、外遊びなどを通して、運動を楽しみながら体力の向上を図っている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、体育の授業、外遊びなど、運動を楽しみながら体力の向上を図る取り組みをしている。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問⑥ 早寝早起き朝ご飯	「早寝早起き朝ごはん」に気をつけて生活している。	児童	■1 ■2 ■3 ■4
	学校は、「早寝早起き朝ごはん」が定着するように、家庭への啓発活動を行っている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、「早寝早起き朝ごはん」の実践を啓発する取り組みをしている。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問⑦ 安全な学校づくり	セーフティタイムなどを通して、身のまわりの危険に気づいたり、安全について考えたりして、校内の危険や交通事故、災害から身を守ろうとしている。	児童	■1 ■2 ■3 ■4
	学校は、安全教育を通して、「自分の身は自分で守る」意識を育てている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、交通安全や緊急時対応など、安全教育を通して、「安全な学校づくり」に努めている。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問⑧ 地域家庭との連携	学校は、家庭・地域との連携を強化し、「社会に開かれた学校づくり」をすすめている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、家庭・地域との連携を強化し、「社会に開かれた学校づくり」に努めている。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問⑨ 個に応じた教育	学校は、一人一人を大切にし、その子のよさを伸ばす教育を行っている。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、一人一人を大切にし、その子のよさを伸ばす教育を実践している。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4
設問⑩ 情報発信	学校は、たより・新聞・ホームページなどで、学校の「今」を積極的に発信している。	保護者	■1 ■2 ■3 ■4
	我々は、たより・新聞・ホームページなどで、学校の「今」を積極的に発信している。	教職員	■1 ■2 ■3 ■4

本年度も、二川小学校の教育活動について、三者アンケートを実施しました。結果は上記の通りです。

※一人一人の個性に応じた、その子のよさを伸ばす教育をと教職員一同努力してまいりました。学習面においては、ICTを活用し、より個別に考えを深めたり広げたりすることを目標に、これからも引き続き支援してまいります。また、特別活動では、エンジョイタイムやペアタイムなどのたてわり活動を行うことによって異学年とのつながりをもつだけでなく、集団の中の自分を意識したり、集団に貢献していこうとしたりする子どもたちを育てていきたいと思ひます。学校に対するご意見を真摯に受け止め、学校教育活動に活かしていきたいと思ひます。アンケートへのご協力ありがとうございました。

コミュニティ・スクールを導入します

二川小学校は、コミュニティ・スクールの導入を旨とし、創立150周年記念事業の目標を、子ども、学校が抱える問題の解決を図るために「二川の未来を担う子どもたちの確かな成長のために、地域と学校が連携・協働して取り組める基盤づくり」とし、校区一体となって各事業を実施しました。

各事業を通し、連携・協働の素地はできあがりました。特に留意して設立した、共育ボランティアの会「こねっと」が、地域と学校との連携・協働の核となり、地域全体で子どもの学びや成長を支える活動ができつつあります。

令和5年度、二川小学校はこれらの活動から、「地域とともにある学校」・「学校を核とした地域づくり」の実現に向けてコミュニティ・スクールを導入します。



コミュニティ・スクールとは?

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会制度」を導入した学校のことです。地域や保護者などと学校が「学校運営協議会」として、地域の子どもの教育に必要なことやできることを一緒に考えていきます。

学校と地域が、育てたい子どもの姿(ゴール)を共有し、地域の方々が教育方針や教育内容を学校と一緒に考え、教育活動に積極的・主体的に参画します。学校運営協議会では、学校と地域が目標やビジョンについて熟議したり、「何を」「だれが」「どのように」取り組むのかを具体的に考えたりします。

〈令和5年度 主な行事予定〉

4月	
6日	入学式
7日	新任式・始業式
12日	2～6年給食開始
17日	退任式(給食なし)
18日	1年給食開始 全国学力・学習状況調査(6年) 学力検査(4,5年)
24日	授業参観・学級懇談会・PTA総会
25日	居住地確認(～28日)
27日	1年生を迎える会(校外学習)
5月	
11日	健全育成会
12日	本爺ラン
6月	
16日	学校公開日(引き取り訓練)
18日	豊橋・学校いのちの日
27日	5年野外教育活動(～28日)
7月	
6日	学校保健委員会
11日	個人懇談会(～13日)
20日	1学期終業式
21日	夏季休業開始
9月	
1日	2学期始業式
5日	給食開始
7日	作品展(～9日)
21日	授業参観・学校保健委員会
27日	6年修学旅行(～28日)
10月	
19日	就学時健康診断
28日	スポーツフェスタ
30日	振替休業日
11月	
5日	二川本陣まつり(6年参加)
6日	6年振替休業日
22日	市教委学校訪問
12月	
12日	個人懇談会(～14日)
15日	3時間授業(教員研修のため)
21日	給食終了
22日	2学期終業式
1月	
9日	3学期始業式
10日	給食開始
2月	
15日	学習発表会
3月	
15日	6年給食終了
19日	卒業式(予定)
21日	給食終了(1～5年)
22日	修了式(予定)

※予定ですので、今後変更の可能性もあります。

学校教育活動 / 二川っ子秋祭り



手あらい教室



町たんけん



水消火器体験



ゴミ収集車体験



福祉体験



エネシング工場見学



ずきのごクリスマス会



150周年記念演奏会
(豊橋交響楽団)



二川っ子秋祭り 10.30

本年度の学校評価について (学校評議員より)

- ・「二川っ子秋祭り」での地域と学校が一体となった取り組みを高く評価します。先生方の子どもたちに寄せる深い愛情と熱意を感じました。
- ・「主体的・対話的・深い学び」についてその指導方法をより具体的に実践研究課題としてもち、魅力ある授業づくりに努めてほしい。
- ・令和5年度から始まるコミュニティ・スクールについて、教職員のアイデア、意見を十分生かして地域の方々と共有し、運営することが鍵だと感じています。期待しています。

3年 「何事にもチャレンジ」 「Ready Go」

学年目標は、友達との輪も大切に、新しいことに挑戦して、いつはいいという願いがこもった「Ready Go」。



「知りたいな ウサギの幸せ」 ウサギに直接触れたよ。大切にしたいね。

三年生から学ぶ理科や社会、英語、総合的な学習の時間を楽しみ、新しいことが身につくたびに、自信をもつことができました。総合的な学習の時間には、来年度から始まるうさぎの飼育に向けて、豊橋総合動植物公園へ行き、飼育員さんの働く姿を見たり、思いを聞いたりしました。飼育員さんが、動物が安心して生活できるようにしている工夫や、動物に愛情をもって接していることを知りました。日常生活でも、困っている友達を助けようとしたり、みんなの力を合わせて目標を達成しようとする姿が見られました。これから四年生に向かって、さらに新しいことに挑戦していきます。

4年 「自分の良さを伸ばす」 「O」

お互いに認め合い、助け合っていくことで、自分のよさを伸ばして、いつはいいという願いをこめて、学年目標を「O」にしました。この一年間に、それぞれのペースで成長し、自分なりのOを見つけることができました。



ウサギの飼育伝達会に向けて「どうしたらうまく伝わるかな？」

ペア活動では、初めての高学年として、三年生のために真剣に計画を立てました。三年生の様子を見て、「次はもっと楽しめるようにしよう」「今回は楽しそうだったよ」などと、相手の立場に立つて次の計画を立てる姿に大きな成長を感じました。ウサギの飼育を三年生に引き継ぐための伝達会では、四年生全体がクラスを超えて協力して発表することができました。写真や説明の文章を考えたり、三年生が興味をもつて聞けるようにと被り物やイラストで飾ったりと工夫して伝えることができました。

5年 「最高学年に向けて」 「みんなの100点」

学年目標「みんなの100点」にこめられた願いのように、全員がそれぞれのよさを発見しながら成長した年でした。



野外教育センターで記念撮影。みんなの笑顔が100点です。

三年ぶりに泊を伴い行われた野外活動。野外教育センターでさまざまな活動に取り組みました。キャンプファイヤーでは、実行委員を中心にレクや学級ごとの出し物を行いました。雨天のため、体育館での開催でしたが、雨雲を吹き飛ばすような、最高の盛り上がりでした。三学期になり、いよいよ学校の中心として活動する機会が増えました。委員会活動では委員長、副委員長を五年生が務めています。話し合いや活動を天進めていく中で、六年生の偉大さを実感しました。「六年生を送る会」では、一々四年生をリードして、「六年生への感謝の気持ち」が伝わる会にしよう」と準備を進めています。

6年 「限界突破」 「チャレンジにその先へ!!」

二川小学校創立百五十周年を迎える年の六年生として、例年になくにも果敢に挑戦した年でした。



中学校でも、限界突破!!

六月に行われた記念式典では、学校の代表として体育館での式に参加しました。また、学校全体を盛り上げられるよう、二川小の歩みを振り返るオリジナルのすくろくを作つて低学年に配りました。エッジイタイムや二年生を迎える会、スポーツフェスタなど、たてわり班での活動の際には、最高学年としての役割を務めようと懸命に取り組み姿がありました。それらの活動をしていく中で迎えた修学旅行のテーマは、「最高学年らしく」でした。二川小学校の名前を背負って活動するという意識の高さが伺えました。

「できる!」 「友達と交流ができた」

今年度、久しぶりに他校の子と関わる行事が再開されました。「クリスマス集い」『teams』によるオンラインブロック交流会『ブロック内高学年児童対象の中学校交流会』等です。そこでは、共通の趣味をもつた子と出会うたり、一緒に歌やダンスを楽しんだり、進路のことについて一緒に考えたりすることができました。どの行事においても、目を輝かせて一生懸命活動する子どもたちの姿がありました。学年目標「できる!」を目ざして一人一人がたくましく成長した二年間になりました。



「クリスマスの集い」 踊りや歌を楽しむことができた!

来年度にむけて

二川小学校創立百五十周年を迎え、地域の方々が育んでこられた温かい人のつながりと、地域が誇る歴史の数々を再発見いたしました。これからの二川小は、コミュニティスクールとして、目ざす子どもの姿を地域と共有し、未来に向けてさらに発展していくよう努力してまいります。